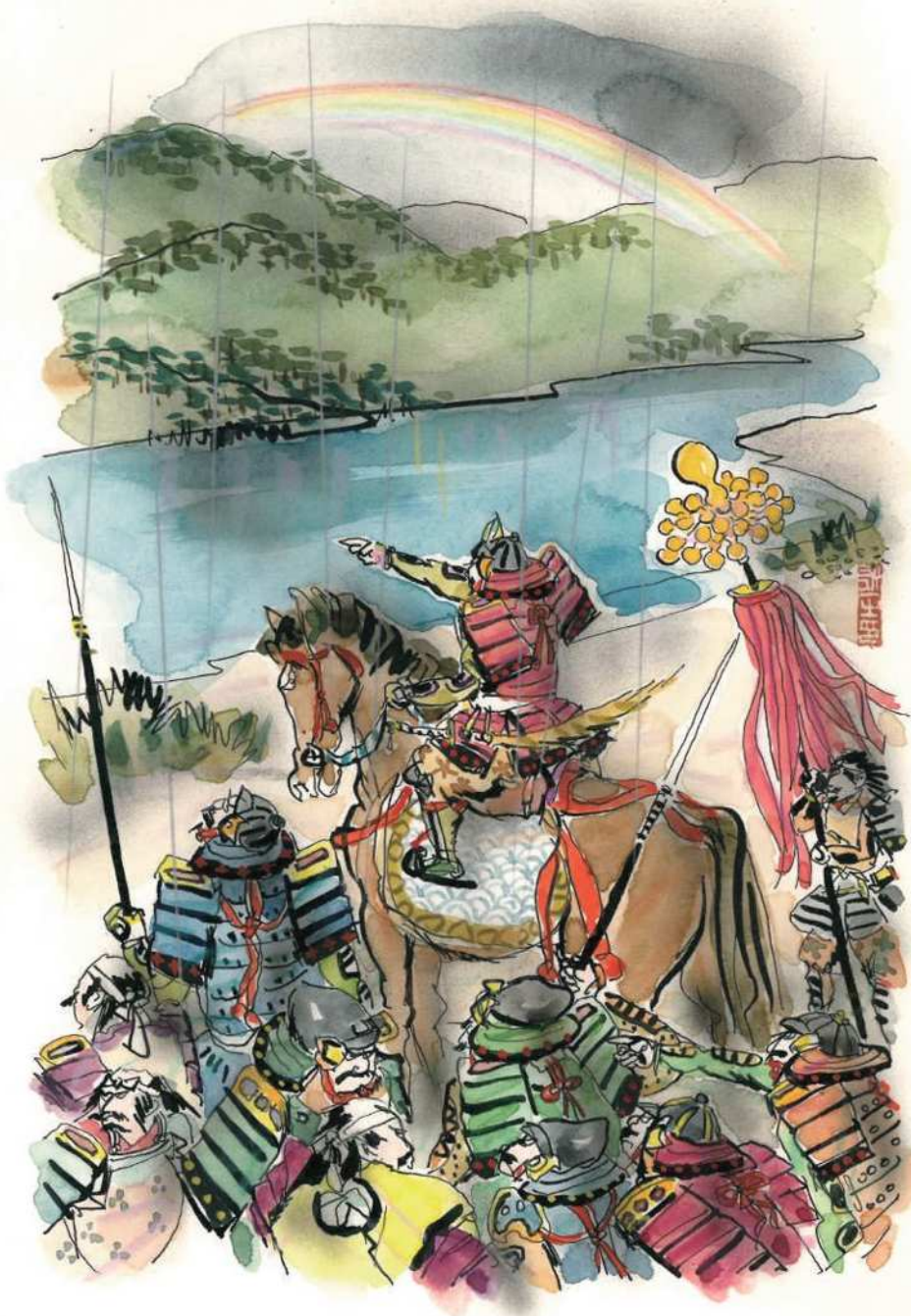


秋季展示

吉川英治作品の挿絵の世界 其の一



吉川英治 四 B

挿絵原画「淀・山崎・天王山」三井永一 作
『新書太閤記(四)』吉川英治全集 22 講談社 昭和 55 年

[開館時間] 10:00~17:00(最終入館は16:30まで)

[休館日] 毎週月曜日(月曜が祝日の場合は翌平日)
※11月4日(月・休)は開館し、11月5日(火)は休館

[観覧料] 大人500(400)円 / 小・中学生200(150)円
※()内は20名以上団体割引料金
※障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は手帳の提示で無料
※青梅市内の小・中学生は土・日・祝日は無料

[年間パスポート] 大人1,400円 / 小・中学生500円

主催: 青梅市教育委員会

協力: 青梅信用金庫

指定管理者: 株式会社フクシ・エンタープライズ

〒198-0064 東京都青梅市柚木町1丁目1011 TEL 0428-74-9477 <https://ome-yoshikawaeiji.net/>

2024
10/19 土
12/15 日



・JR青梅線「二俣尾駅」下車徒歩15分
・JR青梅線「青梅駅」下車⇒都営バス梅76系統
「吉野行」乗車⇒「柚木」停留所下車徒歩約1分



青梅市
吉川英治記念館
Yoshikawa Eiji Memorial Museum

国登録有形文化財 旧吉川英治邸(草思堂)

挿絵は、新聞連載や書籍等の文章に添えられ、一枚でその場面を表現したり、彩りを添えたりする絵画です。昭和を代表する国民文学作家「吉川英治」の作品には、著名な日本画家たちが挿絵等を担っており、当記念館にも多くの作品が所蔵されています。

本展示では、吉川英治の代表的な作品である『三国志』・『太閤記』・『続太閤記』などに着目し、掲載された口絵や挿絵および関連資料により、その世界を御堪能いただきます。

また、晩年に吉川英治と親交の深かった杉本健吉の没後20年を機に収蔵資料の中から関連作品も紹介します。



NHK『人形歴史スペクタクル
平家物語』「平清盛」
川本喜八郎 作



読売新聞連載『三国志』挿絵原画 矢野橋村 作



「庭の椎の木前で談笑する吉川英治と杉本健吉」
昭和26年頃



六興出版社『三国志』表紙絵 宮田重雄 作



読売新聞連載『太閤記』挿絵原画 近藤浩一路 作



色紙「たのしみあるところに」
杉本健吉 画 吉川英治 賛

期間中のイベント

『東京文化財ウィーク特別公開見学会』 10月26日(土)・27日(日)
11月2日(土)・3日(日・祝)・4日(月・休)
①11:00～11:30 ②14:00～14:30

国登録有形文化財の土蔵内部のほか、
主屋の2階や屋根裏を見学します。

『記念館で読書案内～秋の読書週間編～』 11月3日(日・祝) 13:00～14:00

青梅市図書館スタッフによる
レファレンスサービス等を紹介します。

『秋のライトアップ&夜間開館』 11月9日(土)～11月24日(日)
夜間開館日: 11/9(土)・11/10(日)・11/15(金)・
11/16(土)・11/17(日)・11/22(金)・11/23(土)・11/24(日)

記念館内の庭園をライトアップします。また
期間中の金・土・日は開館時間を20:00
(最終入館19:30まで)まで延長します。

『青梅市吉川英治記念館
SNS フォトコンテスト 2024 秋冬』 11月9日(土)～1月19日(日)

記念館内の季節を感じる写真を、SNSにて
募集します。